

議会だより

編集：議会だより編集委員会

第4回朝霞市議会定例会



定例会の概要

朝霞市議会議員一般選挙
後の初議会は、昨年12月18日から28日までの11日間の会期で開かれました。

定例会初日の18日に、正副議長の選挙、常任・議会運営の各委員会の委員の選任等を行い、今後の議会構成が決りました。

この定例会では、市長から追加提出議案を含む4議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案を原案のとおり可決・同意しました。

また、議員提出議案が2件提出され、いずれも原案のとおり可決しました。請願については、1件が採択、2件が閉会中の継続審査となりました。

なお、議会構成と議案の要旨等については、広報あさか2月1日号の「議会だより」をご覧ください。

議案審議

監査委員選任について

○田辺淳議員 今回、議会の

議長、副議長選任にあたっては、全員協議会において自薦・他薦が行われ、それぞれ候補者が議員に明らかにされました。ひとつ議会改革が進んだわけです。この流れで議会側から出される監査委員についても、事前に何らか、自薦・他薦の場が設けられるものと私は思っていました。残念ながら、事前に何らの話もなく、今回監査委員の提案が一方的になされたわけですが、市長は議会側から私ではなく、「この方を」という話をどうかで受けたのですか？

総務関係

議会の議決権と政策形成過程への関与について

○田辺淳議員 議会の議決権は、予定価格1億5千万円以上の工事請負などに限定されていて、執行権が圧倒的に優位で、長年改善されていません。また、近年市民参加が進んできた各課で策定する基本計画（マスタープラン）にも、

質問議員（発言通告順）
獅子倉千代子 石川 啓子 黒川 滋
星野 佐野 公悦 大橋 正好
文男 鷹子 昌夫 松下 昌代
小山 舟本 齋藤 弘道 田辺 滋
祐志 遠藤 容子 駒牧 光博
香 岡崎 和広 本山 好子 あさか

一般質問

市政に対する一般質問は、12月22日・26日・27日の3日間にわたり、17人の議員から74項目の質問が行われました。ここでは、その中から一部を掲載しました。

議会の側から求めがあったのかどうかについては、特にありませんでした。

議会全体や所管の常任委員会にすぐりその説明がされていません。策定済みの計画が3月議会に配布されるだけでは、議員はその内容を理解できな

いでしょう。市民と議会のギャップもこうして生まれます。少なくとも所管の委員会には事前に説明の機会を設けるべきではありませんか？

○市民環境部長 環境基本計画は、パブリックコメントを実施中で、パブリックコメントが終了次第、環境基本計画策定検討委員会と議員も入られている環境審議会で審議いただいてから策定をしたいと考えています。

○健康づくり部長 高齢者福祉計画は、国から保険料を決定するための基礎資料が1月中に通知されます。その後、高齢者福祉計画推進会議で策定を予定しています。計画書



の作成は、おおむね年度末になるので、その点を踏まえると委員会には間に合いませんが、議員の方々には計画書を作成次第速やかに配布したいと考えています。

○**福祉部長** 計画策定はおおむね年度末までかかるので、委員会に出るのは非常に難しい状況です。でき上がった計画は、議員の方々をはじめ、関係者、関係機関の皆様にできるだけ早期に配布するとともに、ホームページなどにお示ししたいと考えています。

防災無線難聴地域対策について

○**遠藤光博議員** 防災無線は、緊急時の連絡のみならず、ある情報を広く告知するためにも活用されています。それらの情報が聞こえない場所、地域があり、そこに住んでいる方々から何の放送なのか分からず不安だと声をいただきますが、現在の設備に限界があるのでしあうか。難聴地域には、例えは戸別受信装置を配付するなどできないでしょうか。どうか、一刻も早い

対応をお願いしたく具体策をお伺いします。

○**市長** 難聴地域の解消については、戸別受信機を一家庭に1台置いていただくのが一番いいと思いますが、非常に高額なものです。私としては、非常に知っていたいところで、市に配置できればということで、市公共施設などのほか、町内会・自治会・市議会議員、消防団員に1台ずつ来年度無償で配布をしたいと思っています。価格が1万円前後と非常に高額なもので、ふだんはラジオがついていても、放送があつたときに切り替わるものであります。

○**佐野昌夫議員** 基地跡地の公務員宿舎付帯施設内に建設が計画されていた休日夜間診療所建設に向け、朝霞地区医師会との間でさまざまな調整が行われていたと思いますが、付帯施設の建設が中止となつたことを踏まえ、今後の関係各機関との調整や新たなスケジュールをどのようにお考えですか。また、設置場所について現在の保健センターを活用することができる効果的であると考えますが、他候補地の検討も含め、どのようにお考えか。また、症状が軽い場合の対応と在宅当番医制において、休日の昼しか対応していないわけではありません。ただ、どちらの需要があるかわかりませんので、当初は100台くらい購入して、市民の皆様に周知をしていきたいと思っていま

基地跡地の付帯施設で ある休日夜間診療所について

○**佐野昌夫議員** 基地跡地の公務員宿舎付帯施設内に建設が計画されていた休日夜間診療所建設に向け、朝霞地区医師会との間でさまざまな調整が行われていたと思いますが、付帯施設の建設が中止となつたことを踏まえ、今後の関係各機関との調整や新たなスケジュールをどのようにお考えですか。また、設置場所について現在の保健センターを活用することができる効果的であると考えますが、他候補地の検討も含め、どのようにお考えか。また、症状が軽い場合の対応と在宅当番医制において、休日の昼しか対応していないわけではありません。ただ、どちらの需要があるかわかりませんので、当初は100台くらい購入して、市民の皆様に周知をしていきたいと思っていま

通しがつけば、今後の具体的なスケジュールも立てられるものと考えています。診療所の運営体制ですが、市の思いとしては、休日や夜間の初期診療を充実していくためには、現行の在宅当番医療制度がカバーしている休日夜間だけでなく、休日や平日夜間にも対応を期待しているところです。しかしながら、現段階においては、どの程度のことができるのかといったところまでの協議の詰めには至っていません。したがいまして、当面は両医師会のご意見をよく伺いながら、適切な設置場所、設置形態等検討ができる限り早期にめどをつけられるよう努力をしたいと考えています。

○**都市建設部長** 住宅街の狭い道路を車がスピードを出して走行することに対する対策としては、交通規制や標識の設置、ハンプなどの障害物の設置が考えられます。交通規制については、スクールゾーンのような時間帯による通行規制や速度制限などがあります。警察による規制となります。物理的に車を減速させるハンプの設置などが考えられます。が、住宅街では振動、騒音等の問題が発生するので難しい効果が大きい対策としては、

朝霞市内の住宅地域市道（生活道路）での交 通・道路対策について

○**大橋正好議員** 住宅地域の幅員4メートルの市道（生活道路）の建物については、耐震化の必要性も指摘されているところです。この設置場所に見

家の前の道で歩き始めの幼児や遊び盛りの子どもや小中高生、また、朝夕、日中の急ぐ人などが道路に出たところで車両、オートバイ等との出合いで頭での接触事故が考えられます。さらに速度を出しての車両が多くあり、とても怖く恐ろしいと思います。今、この生活道路での事故が起きないようには何か工夫が必要と思うのですが、交通か道路対策はありますか。

○**都建設部長** 住宅街の狭い道路を車がスピードを出して走行することに対する対策としては、交通規制や速度制限などがあります。警察による規制については、スクールゾーンのような時間帯による通行規制が考えられます。交通規制については、スクールゾーンのような時間帯による通行規制や速度制限などがあります。警察による規制となります。物理的に車を減速させるハンプの設置などが考えられます。が、住宅街では振動、騒音等の問題が発生するので難しい効果が大きい対策としては、

注意喚起を促す路面標示や看板の設置などあります。現在、警察庁は、ゾーン30という、



一定の区域内を最高速度30キロとする区域規制を全国で進めているところです。朝霞市内も、どのエリアを指定するか警察と協議を行っており、この規制によつて住宅街のスピードの抑制につながると考えています。今後も、地域の住民の意向をよく確認しながら警察と連携を図り、交通安全対策に努めたいと考えています。

市道200号線の交通安全対策について

○本山好子議員 市道200号線は通学路としての利用が何か所もあり危険がいっぱいです。大型トラックもスピードを出して通り、規制をするなどの対策はできませんか。

高齢者、子どもの安全確保、歩行者、自転車の安全確保、交差点における交通事故防止など交通安全対策についてどのように市は考えておられるのかをお尋ねします。

○都市建設部長 どの交通規制については、朝霞警察署に確認したところ、現地調査をする必要があります。今後朝霞警察署と協議したいと考えています。

安全対策については、これまでセンターラインの消去、全対策に努めたいと考えています。スピードを落とすための路面標示、見通しの悪いところにはグリーンベルトの設置、またはベンガラ舗装等を行っていますとともに、交通指導員の配置を行つてきています。今後は、警察と現地に立ち会いながら、その他どういう対策ができるか検討していきたいと思います。

教育環境関係

小中学校にエアコン設置を

○獅子倉千代子議員 9月議会に引き続き小中学校にエアコン設置についてお伺いいたします。前回、市からは現在実施しているトイレ改修工事（平成25年まで）が終わつてからと回答をいたしておりましたが、先般行われた市議会議員選挙の際、小中学生をあ

持ちのお母さんや、小中学校の児童や生徒から早くエアコンを設置してほしいとの声をたくさんいただきました。この生の声をぜひお聞きいたしまして、早期実施に向けて検討をいただき、今後の問題についてどうお考えですか。

○市長 ことしも大変な猛暑で、こういった異常気象は常态化していると思っています。そういう中、子どもたちの教育環境を少しでも改善するため、エアコンの設置をしたまつた。今回、予算編成の中で何とかこの整備ができるないかということで、今いろいろ工夫をしているところです。

したがつて、来年度でこの工夫がうまくいくと予算が手当できれば、来年度、全校に設置したいとは思つています。○生涯学習部長 あさかは、市内小学4年生から6年生までの計60人を対象に4月に開校しました。東洋大学ライフデザイン学部長を学長とし、入学式から県主催の交流事業まで、学園祭を含め全8回、10種類の講義等を実施しました。

内容としては、トラス構造や人形劇等の講義のほか、「お金の教室」、思いやりなどについて学ぶ「魔法の教室」、

子ども大学あさかについて

努力について学ぶ「ペントボトルでいかだをつくろう」などを进行了。

○教育長 今後も子ども大学あさかの取り組みを通じ、児童自身が学んでいく、その学童の方々の目で子どもたち一人ひとりをしっかりと見ていく、育てていく、育てる力を持った地域作りたいと考えています。

○松下昌代議員 多様な価値観に触れる機会を多く提供する」とことで、子どもたちが夢や憧れを持ち、その実現を支える地域を作りたいと私は考えています。なぜなら、子どもたちは将来を担う大事な「人財」「宝」だからです。子どもたちも大学あさかは学ぶ力・生き力を持む目的で、朝霞市教育委員会・埼玉県教育局・朝霞青年会議所・東洋大学共催という形で本年初めて実施した事業と伺つております。今年度の取り組み内容および長期的に地域で目指す姿・市民への影響をお尋ねします。

○小山香議員 福島原発事故により、私たちは今いる子どものみならず、これから生まれてくる子どもにまで恐怖を感じました。今、私達がしなければならないことは、放射線の影響から子どもを守ることであります。今、問題にすべきは、食べ物を通じた内部被ばくの被害であります。市内の

子どもの安全と放射線量測定について

○小山香議員 福島原発事故により、私たちは今いる子どものみならず、これから生まれてくる子どもにまで恐怖を感じました。今、私達がしなければならないことは、放射線の影響から子どもを守ることであります。今、問題にすべきは、食べ物を通じた内部被ばくの被害であります。市内の



*トラス構造……直線的な部材で構成される三角形を単位とした構造骨組の一種



保育園および学校給食の食材について、放射線量の測定を行つていなければ、直ちに行うべきでありますし、もし行う予定があるのならばその時期と方法などを教えてください。

○福祉部長 給食の検査については、学校給食、保育給食用に測定器をそれぞれ購入して実施する予定ですが、測定方法については、これから検討する予定となっています。いずれにしても、継続して検査を実施したいと考えていますので、子どもたちの安全と保護者の方々に安心していただけるよう実施したいと考えています。

○学校教育部長 学校給食の食材測定の方法については、食材ごとに放射性物質を測るやり方と「食分丸」とやるやり方とあり、それぞれメリットとデメリットがあるかと思います。この点については、先進市の取り組み等を参考に決定したいと考えています。

○黒川滋議員 公立保育園の開所時間が民間委託園を除き19時までとなつていて、市外通勤者にせめて20時までの開所を、と求められています。「あさか子どもプラン」前期計画で20時まで開所を明記していましたが、平成22年度からの後期計画では、国の補助制度の変更のもと、コストがかかり二一ヶがないと、取りやめられています。保育時間の延長に関して、具体的なコストや、家庭保育室利用者まで含めた二一ヶ調査をして、公開すべきではないでしょうか。

○福祉部長 今ある課題を早急に解決していくことが必要であるといふことは十分認識しているところです。先进市の取り組み等を参考に決定したいと考えています。

○石川啓子議員 12月時点の保育園入園待ち（休職中も含む）は40人です。子どもプランでの保育園建設目標は26度までに定員1615人ですが、市が行った調査での必要量は2683人です。みずから行つた調査結果より千人も少ない目標を立て、子どもプランの自己評価では超過達成できたとしてA評価（確実に進捗）としています。これでは真剣に待機児童を解決しようとしているとは思えません。子どもプランの保育園建設目標を二一ヶ量まで引き上げるべきではないでしょうか。

○福祉部長 平成21年度に策定したあさか子どもプラン後期計画において、保育園の建設を重点項目と位置づけ、入園待機の解消を図るため、平成26年度までに19園から23園を考慮した上で検討していくかなければならぬと考えています。具体的な期限を定めて取り組んでいるところです。

民生関係

保育園政策について

実施どころについては難しいところですが、他市の取り組みや、二一ヶの把握などに努め、調査研究していくたいと考えています。

保育園待機児童解消を

予どもプランの重点事業の目標の見直しについては、推進委員会にお諮りしたところ、目標値はあくまでも策定委員会において計画を策定する段階で定めたものであり、計画の期間内に目標値を変えることは好ましくないとの結果でした。今後、子どもプランの実施計画の中で進捗管理していきたいと考えています。

女性総合健診の導入について

予どもプランの重点事業の目標の見直しについては、推進委員会にお諮りしたところ、目標値はあくまでも策定委員会において計画を策定する段階で定めたものであり、計画の期間内に目標値を変えることは好ましくないとの結果でした。今後、子どもプランの実施計画の中で進捗管理していきたいと考えています。

○健康づくり部長 女性を対象とした健診事業のうち、保健センターを会場として実施している乳がん・子宮頸がんの集団検診と30代の男女を対象とする30代のヘルスチェックを同時に実施しています。特定健康診査と特定年齢以上の中高年層を対象とするがん検診では、対象者、実施方法の違いや医師会との調整など、検討すべき課題があります。今後は、総合健診を実施している和光市などの導入状況を踏まえ、受診者にとってより利便性の高い方法について調査研究したいと考えていますので、ご理解いただけます。



○駒牧容子議員 朝霞市は各種がん検診を実施しておりますが、夫婦共働き世帯や子育て世帯も多く各種検診を受けられる場合、複数の日を使い検診を受ける日程を確保することを踏まえ、受診者にとってより利便性の高い方法について調査研究したいと考えたいと思います。

○健康づくり部長 女性を対象とした健診事業のうち、保健センターを会場として実施している乳がん・子宮頸がんの集団検診と30代の男女を対象とする30代のヘルスチェックを同時に実施しています。特定健康診査と特定年齢以上の中高年層を対象とするがん検診では、対象者、実施方法の違いや医師会との調整など、検討すべき課題があります。今後は、総合健診を実施している和光市などの導入状況を踏まえ、受診者にとってより利便性の高い方法について調査研究したいと考えていますので、ご理解いただけます。



国民健康保険税の減税について

○齊藤弘道議員 多くの方が国保税の負担が重いと訴えています。その原因は2008年の増税です。増税前と比べると、税の収納率は下がり、滞納者が増え、差し押さえ件数も増えています。払いたくても払えなくて困っている人が多くなりました。一方、国保財政は改善せず、増税分はそつくり、一般会計からの補てん（＝みんなの支え合い）を減らした分に消えています。

経済状況が厳しい今こそ、一般会計からの補てんを増やし、特に所得の少ない人に減税すべきです。

○市長 平成24年度まで、23、24年度と2千円の減税は、着実に行っています。ただ、やはりに減税をとることですが、歳入の柱である保険税調定額、これが非常に落ち込む中で、一方で歳出のほうでも高齢化あるいは医療技術の高度化によって、医療費が毎年増加しています。また、基金も7千万円で、すべて24年度で使い切ってしまうという、

るわけですが、「こちらのほうも一般会計の状況、経常収支比率も94・8%というところで、余裕がなくなっています。

そういう中でさらに減税を行なうことは、非常に困難しいと思っています。

市内各所にAEDの設置を

○岡崎和広議員 AEDは突然心臓が止まってしまった人の心臓のリズムを電気ショックを与えることにより再び正しいリズムに戻し蘇生するための治療器です。本市でも市内公共施設等にAEDが設置されきましたが、施設が閉まっている時間はAEDを取り出すことができません。朝霞市民の命を守るために24時間利用可能なAEDの設置を求めます。例えばマンションのエントランスなどに設置はできないでしょうか、お伺いいたします。



不妊治療に補助金を

○福川鷹子議員 同僚議員から女性総合健診導入の質問がありました。女性にとってとてもありがたい健診を感じたところです。

女性にとって母親になることは、とてもうれしく幸福に感じられるのです。しかし、結婚して10年がたっても子どもが産まれないことが心配になります。

また、最近ではマンション敷地内に飲料用自動販売機の設置をすることで、AEDが無償貸与される場合や管理組合に支払われる手数料をAEDのリース料に充てるという導入事例もあるそうです。それらを含め、さまざまな課題に対し、調査研究していくといふと考えています。

○健康づくり部長 予どもを望む夫婦にとって、不妊治療を行うことは、精神的負担だけでなく経済的負担も大きいと思っています。相談窓口としては埼玉県不妊専門相談センターがあり、検査や治療に関する医師が医学的な相談を受けています。また、治療費については、平成16年度より埼玉県不妊治療費助成事業が

開始され、夫婦1組につき、対象となる治療費に対し1回の治療に当たり15万円まで、初年度は3回まで、2年目以降は2回までとして、通算5年までの助成が受けられます。

したがいまして、市で単独の上乗せの補助については、現時点では難しいと考えています。今後も、埼玉県における助成事業の周知を図っていくと考えています。

高齢者の虐待防止について

○星野文男議員 埼玉県の高齢者虐待に関する調査によりますと、平成22年度に相談、通報された虐待は、1246件にも上るとありました。この件にも上るとあります。これは朝霞市においても高齢者の虐待が少なからずあるのではないかと心配されます。そこでお聞きしますが、朝霞市における高齢者の虐待の相談、通報は平成22年度に何件あったのか。また、継続も含めて全部で何件あったのか。そして、その対策はどのようなものであったのでしょうか。

○市長 平成24年度まで、23、24年度と2千円の減税は、着実に行っています。ただ、やはりに減税をとることですが、歳入の柱である保険税調定額、これが非常に落ち込む中で、一方で歳出のほうでも高齢化あるいは医療技術の高度化によって、医療費が毎年増加しています。また、基金も7千万円で、すべて24年度で使い切ってしまうという、



議会だより



○健康づくり部長 高齢者への虐待の主な種類として、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待、介護・世話の放棄・放任があります。虐待通報があった時点で、市や地域包括支援センターが家庭訪問などの実態調査を行い、担当課や関係者を中心とした緊急度判定会議を開催し、そのケースの緊急度を判定します。その結果により、介護施設への一時保護やその家庭の見守り、経過観察などの対応策を決定し、虐待防止に努めています。

平成22年度に市へ相談、通報を受けた件数は15件で、前年度からの継続分を含めますと56件になります。今後も、市職員や介護事業所職員の研修をはじめ、高齢者虐待の被害者の半数が認知症の方と言われていることから、地域住民を交えた認知症サポートセンター養成研修なども進めていきます。

請願・陳情の提出について



朝霞市議会会議録

審議内容を詳しくお知りになりたい方は、市政情報コーナー（市役所3階）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。また、市ホームページからもご覧いただけます。（今回の会議録は、3月上旬に公開を予定しています）。

議会の詳細は 会議録で

次のとおり推薦しました
(順不同)

○情報公開・個人情報保護審議会	遠藤 光博	斎藤 弘道
○環境審議会	須田 義博	小山 香
○廃棄物減量等推進審議会	岡崎 和広	
○コミュニティセンター運営審議会	獅子倉千代子	
○民生委員推薦会	星野 文男	本山 好子
○総合福祉センター運営協議会	石川 啓子	大橋 正好
○高齢者福祉計画推進会議	齊藤 弘道	松下 昌代
○児童館運営協議会	福川 鷹子	大橋 正好
○都市計画審議会	遠藤 光博	駒牧 容子
○国民健康保険運営協議会	岡崎 和広	小山 香
○施設管理公社評議員会	山口 公悦	本山 好子
○博物館協議会	田辺 淳	田辺 淳
○公園運営審議会	須田 昌夫	佐野 昌夫
○施設管理公社評議員会	佐野 昌夫	佐野 昌夫
○緑化推進会議	船本 野本	福川 鷹子
	祐志 一幸	小池 正訓
	石原 容子	
	駒牧 容子	
	岡崎 和広	
	山口 公悦	
	田辺 淳	
	須田 昌夫	
	佐野 昌夫	
	福川 鷹子	
	小池 正訓	

次回定例会の開会日は
2月28日(火)の予定です

※ 請願の提出は、2月21日(火)午後5時までにお願いします。



議会を傍聴することは、市民として市政を身近に知るための最もよい方法です。皆さんが選んだ議員がどのような活動、仕事をしているかなどを十分ご理解いただけると思います。

市議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。ぜひ傍聴にお出かけください。

問／議会事務局 内2284 ☎463-0549